【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第２区分
【発行日】令和6年7月30日(2024.7.30)

【国際公開番号】WO2023/149279
【出願番号】特願2023-578491(P2023-578491)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｇ　4/40(2006.01)
Ｈ０１Ｆ 27/00(2006.01)
Ｈ０３Ｈ　7/01(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｇ　4/40　３２１Ａ
Ｈ０１Ｆ 27/00　　Ｓ
Ｈ０３Ｈ　7/01　　Ａ

【手続補正書】
【提出日】令和6年4月3日(2024.4.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
互いに対向する１対の主面と前記主面間を結ぶ側面とを有する絶縁体と、
前記絶縁体内において少なくとも１つの第１導体パターンにより構成された第１インダクタと、
前記絶縁体内において少なくとも１つの第２導体パターンにより構成され、前記第１インダクタに対して並列接続し、前記第１インダクタと磁気結合する第２インダクタと、
前記主面のうち一方の面側から平面視した場合に、前記第１導体パターンの一部と重なる前記絶縁体内の位置に設けられるキャパシタと、
前記第１インダクタと電気的に接続される第１外部電極と、
前記キャパシタと電気的に接続され、前記絶縁体の対向する前記側面のそれぞれに設けられる第２外部電極と、を備え、
前記キャパシタは、
前記第１インダクタと電気的に接続される第１電極パターンと、
各々の前記第２外部電極と少なくとも１つの配線パターンで電気的に接続される第２電極パターンと、を含み、
少なくとも１つの前記配線パターンは前記第１導体パターンの一部と平行である、電子部品。
【請求項２】
前記キャパシタの前記第２電極パターンと各々の前記第２外部電極とは、直線状に並んだ２つの前記配線パターンで電気的に接続されている、請求項１に記載の電子部品。
【請求項３】
前記主面のうち一方の面側から平面視した場合に、前記キャパシタと重なる前記第１導体パターンの一部は、前記第２外部電極が対向する前記絶縁体の一辺と平行である、請求項１または請求項２に記載の電子部品。
【請求項４】
前記配線パターンは、前記主面のうち一方の面側から平面視した場合に、前記第１導体パターンと一部重なる、請求項１または請求項２に記載の電子部品。

【請求項５】
各々の前記第２外部電極は、同電位である、請求項１または請求項２に記載の電子部品。
【請求項６】
前記第１インダクタおよび前記キャパシタは、ＬＣ直列回路を構成する、請求項１または請求項２に記載の電子部品。
【請求項７】
前記主面に垂直方向に前記キャパシタ、前記第１インダクタ、前記第２インダクタの順に積層されている、請求項１または請求項２に記載の電子部品。
【請求項８】
前記第２外部電極は、前記側面のうち対向する第１側面および第２側面と、前記第１側面と前記第２側面とに挟まれる第３側面とに形成され、
２つ以上の形成された前記配線パターンのうち１つの前記配線パターンが、前記第３側面の前記第２外部電極と電気的に接続される、請求項１に記載の電子部品。
【請求項９】
前記キャパシタと前記第１インダクタとの積層方向の距離は、前記第１インダクタと前記第２インダクタの積層方向の距離よりも長い、請求項８に記載の電子部品。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本開示の一形態に係る電子部品は、絶縁体と、第１インダクタと、第２インダクタと、キャパシタと、第１外部電極と、第２外部電極と、を備える。絶縁体は、互いに対向する１対の主面と主面間を結ぶ側面とを有する。第１インダクタは、絶縁体内において少なくとも１つの第１導体パターンにより構成される。第２インダクタは、絶縁体内において少なくとも１つの第２導体パターンにより構成され、第１インダクタに対して並列接続し、第１インダクタと磁気結合する。キャパシタは、主面のうち一方の面側から平面視した場合に、第１導体パターンの一部と重なる絶縁体内の位置に設けられる。第１外部電極は、第１インダクタと電気的に接続される。第２外部電極は、キャパシタと電気的に接続され、前記絶縁体の対向する前記側面のそれぞれに設けられる。キャパシタは、第１インダクタと電気的に接続される第１電極パターンと、各々の第２外部電極と少なくとも１つの配線パターンで電気的に接続される第２電極パターンと、を含み、少なくとも１つの配線パターンは第１導体パターンの一部と平行である。